

広川町新庁舎建設基本計画

検討資料

～ 複合庁舎機能～

《目 次》

■ 新庁舎の導入機能	1
■ 基本的認識の共有とメインテーマ	10
論点① 広川町にとって、新庁舎が果たすべき役割とは？	11
論点② どのような広川町新庁舎を目指すのか？	14

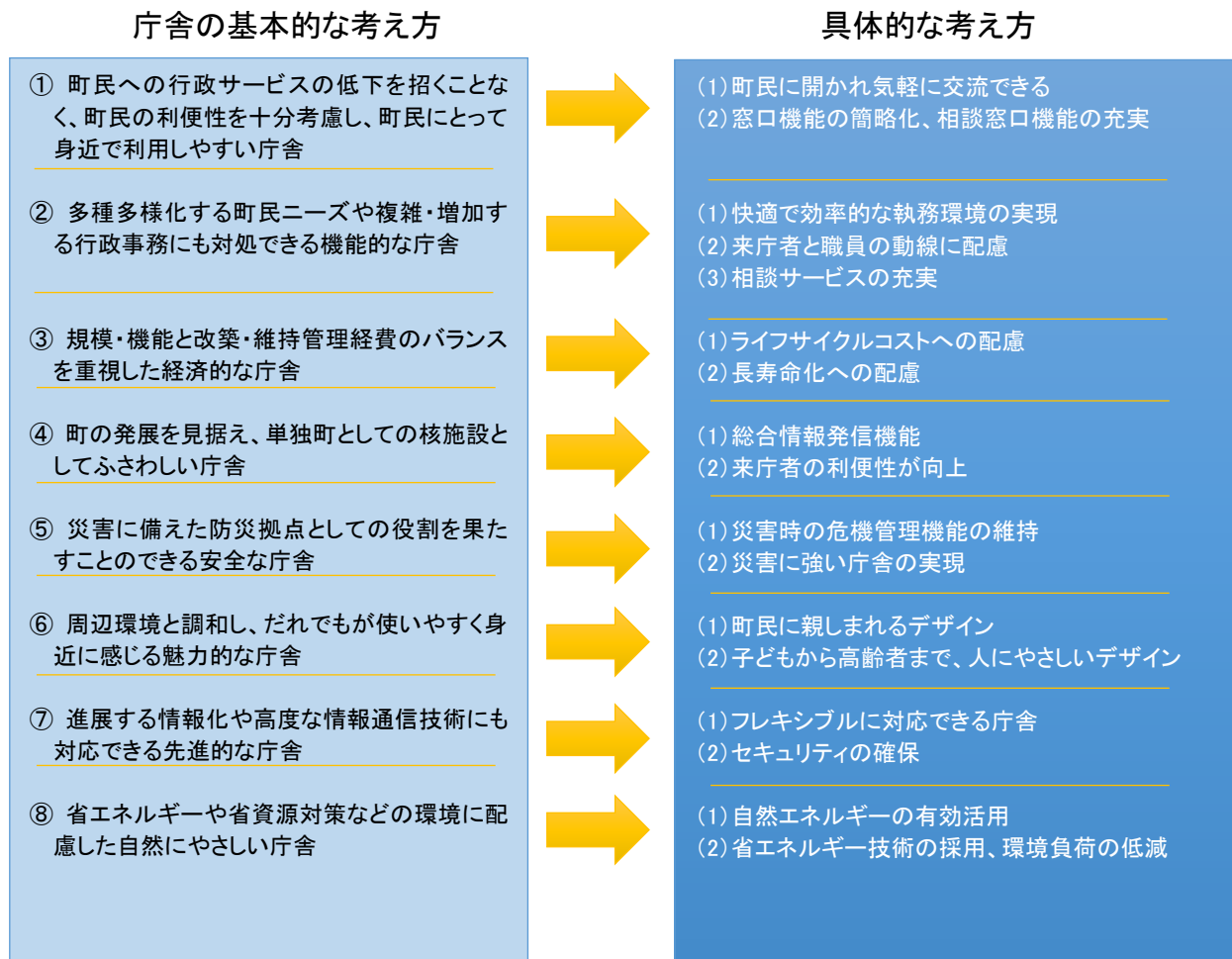
平成 30 年 1 月 30 日

■新庁舎の導入機能

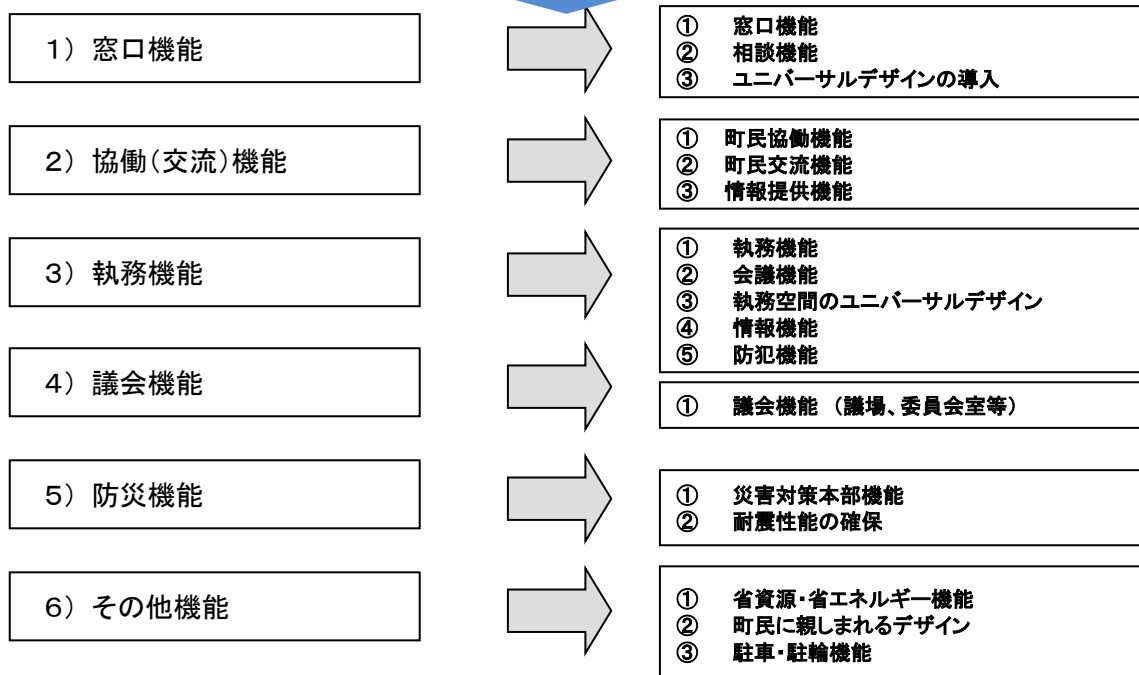
1-1.導入機能の構成

新庁舎整備に係る基本理念、8つの整備理念を定め、これに基づく基本機能を示します。

基本理念「**広川の未来を描く みんなの庁舎**」



基本理念、基本機能を踏まえ、次の機能を備えた新庁舎の実現をめざします。



1-2.導入機能

1)窓口機能




導入する機能	整備方針	具体的な導入機能(導入イメージ)
<p>①窓口機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町民の利便性に配慮した総合窓口方式とし、町民サービスの向上を図る。 誰もが使いやすいカウンターを計画する。 子どもから高齢者まで人にやさしいサイン計画とする。 	<p>総合案内を窓口フロアの分かりやすい場所に設置する。各種証明書の交付事務などを総合的に行う窓口の設置や、ライフイベントに関連する手続きの担当窓口を隣接して配置するなど、町民が利用しやすい窓口を整備する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>窓口フロア(小牧市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>総合窓口(つくば市)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>窓口フロア(黒部市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>窓口モニター(海老名市)</p> </div> </div> <p>来庁者の相談内容、特性に合わせて、車椅子対応のローカウンターやハイカウンターを適正配置する。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>記載台(つくば市)</p> </div> <p>案内表示は、高齢者や障がい者など、誰もが見やすく、また、来庁者の利用目的に応じた分かりやすい表示に統一する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>総合案内サイン(長岡市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>庁内サイン(半田市)</p> </div> </div>

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能(導入イメージ)
②相談機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーに配慮した相談室、相談コーナーを設置する。 	<p>個別の相談業務の増加に対応するため、プライバシーに配慮した相談室、相談コーナーを設置し、相談窓口機能を充実する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>プライバシーに配慮した 窓口カウンター(つくば市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市民相談室(立川市)</p> </div> </div>
③ユニバーサルデザインの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎の完全バリアフリー化を実現する。 ・ 誰もが使いやすい庁舎とする。 	<p>エレベーターや階段手摺りの設置、通路幅の確保など、車椅子利用者はもとより誰もが安心して移動できる手段を確保する。 通路動線は、待合スペースと重複しないよう検討する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>バリアフリー庁舎のイメージ(国土交通省中部地方整備局)</p> </div> <p>多機能トイレ・授乳スペース等を設置する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>キッズスペース(つくば市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キッズスペース(小牧市)</p> </div> </div>


2) 協働(交流)機能

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能(導入イメージ)
①町民協働機能	<ul style="list-style-type: none"> 町民が多目的に利用できる空間を整備する。 	<p>絵画や書など町民が制作した作品等を展示できるロビースペースの設置を検討する。</p>  <p>多目的ロビー(立川市)</p>
②町民交流機能	<ul style="list-style-type: none"> 町民交流やにぎわいの生まれる場を整備する。 	<p>来庁者が落ち着きとゆとりを感じるロビースペースを確保するとともに、多目的な用途に利用できる会議室の設置を検討する。</p>  <p>交流スペース(小牧市)</p>  <p>ラウンジ(白石町)</p>
③情報提供機能	<ul style="list-style-type: none"> 町政、町民活動地域や観光に関する情報、資料などを閲覧、情報提供できる場を整備する。 	<p>来庁者の利便性が高い場所に情報コーナーを設置する。</p>  <p>市政情報コーナー(つくば市)</p>  <p>市政情報コーナー(小牧市)</p>



3) 執務機能

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能(導入イメージ)
①執務機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適で効率的な執務空間を実現する。 	<p>間仕切りのない見通しの効く広い空間を保ち、配置変更が容易なオープンフロアとする。</p> <p>業務の効率化が図れるよう働きやすい動線を考慮した執務スペースのレイアウト、機器の配置とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 執務空間(青梅市) ユニバーサルプラン(青梅市) </p>
②会議機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議室、打合せスペースを充実する。 	<p>目的に合わせた大小の会議室を整備し、大会議室は分割可能な間仕切りを導入する。</p> <p>職員同士の簡易なミーティングを行うための打ち合わせスペースを計画する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 打ち合わせスペース(半田市) ミーティングスペース(町田市) </p>
③ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な職員の働き方に対応する。 	<p>職員の多様な働き方に対応するため、執務空間にユニバーサルデザインの考え方を導入する。</p>
④情報機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報化への設備対応 	<p>災害時において、機能損失を回避するため、情報関連機器は中層階以上に配置する。</p> <p>将来の拡張に備えたスペースの確保を検討する。</p>
⑤防犯機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報や重要な書類は高いセキュリティレベルを維持し、徹底した管理を行う。 ・ 不審者の侵入や火災等により町民の個人情報などが損なわれないように、セキュリティの強化を図る。 	<p>重要な書類や電子データ等、町民のプライバシーに関する個人情報について、庁舎外も含めて適切な保管場所の検討を行い徹底した管理が可能な計画とする。</p> <p>町民交流部門等来庁者が自由に出入りできるエリアと職員のみが立ち入るエリアの区分を徹底し、用途に合わせたセキュリティレベルの設定を検討する。</p>

4) 議会機能

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能(導入イメージ)
①議会機能 (議場、委員会室等)	<ul style="list-style-type: none"> 傍聴しやすく、開かれた雰囲気 の議場を創る。 動線及び諸室配置を計画し、セキュリティが確保された分りやすく機能的な諸室を整備する。 	<p>議会は、町民の接しやすさや親しみやすさを考慮し、利用しやすい議会傍聴など必要な機能の整備を検討する。</p> <p>議会開催がないときの議場の多目的利用の可能性を検討する。</p>  <p>設楽町役場議場(設楽町)</p> <p>調査研究を行うための資料や参考図書を閲覧できる場所を設置する。</p> <p>議場や委員会室、議員控え室等は円滑な運営や議員相互の情報交換、調査研究ができる機能を設けるとともに、災害対策本部や議会活動以外の会議等にも活用できるよう検討する。</p>

5) 防災機能

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能(導入イメージ)
①災害対策本部機能	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の危機管理機能と町民への情報発信機能を強化する。 災害時に持続可能な機能を整備する。 	<p>災害対策本部室として利用可能な電源設備、情報通信設備機器、専用の電話回線、大型モニター等や放送機能のある多機能会議室の設置を検討する。 (平常時は、会議室として利用)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>災害対策本部室(紀ノ川市) 災害対策室ホワイトボード(半田市)</p> <p>ライフラインのバックアップ機能として、3日以上連続運転が可能な自家発電装置、電力供給の多重化、太陽光発電や雨水の活用など、ライフラインが途絶えた場合でも通常業務や災害支援活動の維持が可能な計画とする。</p> <p>食料や飲料水などの備蓄、災害物資の保管が可能なスペースを確保する。</p> <p>災害時対応の職員に配慮した職員専用スペースを検討する。</p>
②耐震性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 安全性を確保し、災害に強い庁舎を実現する。 	<p>新庁舎は、国土交通省が官庁施設の特性に応じて耐震安全性の目標を定めた「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」による最高水準の耐震性能(Ⅰ類・A類・甲類)の確保を検討する。</p> <p>大地震発生時の建物の設備や機能の被害を最小限に抑え、防災拠点、災害復旧復興拠点としての機能を維持できる計画とする。</p> <p>設備架台や配管は耐震性のあるものを選定し、設備機器の耐震化を図る。</p>

6) その他の機能

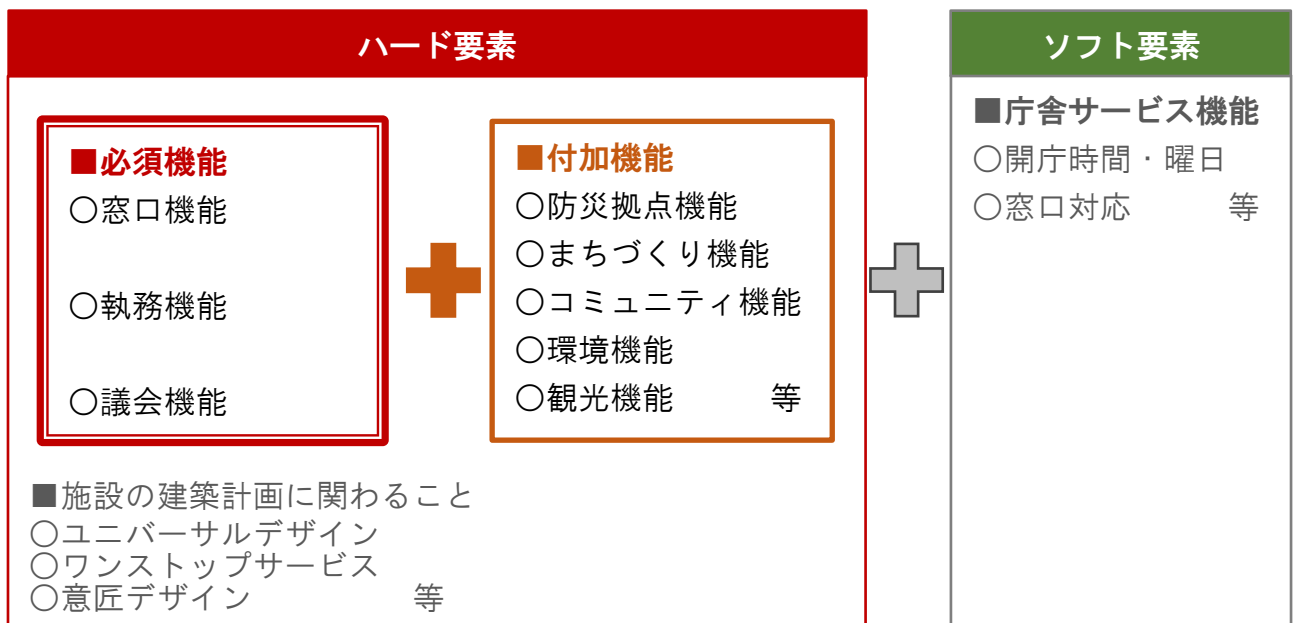
導入する機能	整備方針	具体的な導入機能(導入イメージ)
<p>①省資源・省エネルギー機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフサイクルコストの削減に配慮した計画とする。 ・ 自然エネルギーを有効活用し、環境保全を推進する。 ・ 電気自動車充電スペースを敷地内に整備し、次世代エネルギーの普及を図る。 	<p>省エネルギー設備と高効率な設備の運用を合わせ、維持管理費の削減を図る。</p> <p>自然環境負荷低減のため、自然採光・通風のほか、雨水利用や、太陽光発電など自然エネルギーを積極的に利用する。</p> <p>環境負荷低減のため、可能な部分で敷地内緑化等を検討する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>薪ストーブの導入(大野市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>屋上緑化による日射遮蔽・断熱性の向上(立川市)</p> </div> </div> <p>クリーンエネルギーの普及促進及び災害時の電力活用を図れる電気自動車充電スペースの設置を検討する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>電気自動車充電スペースの設置(甲府市HP)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電気自動車優先駐車場の設置(つくば市HP)</p> </div> </div>
<p>②町民に親しまれるデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎が永く親しまれるために、広川の自然・歴史・文化を継承する素材を積極的に取り入れる。 	<p>久留米絨や古墳、イチョウなど、広川を感じられる素材のイメージを選定する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>久留米絨</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イチョウ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>木材活用庁舎事例(四万十町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木材活用庁舎事例(国見町)</p> </div> </div>
<p>③駐車場・駐輪場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来庁者、公用車駐車場を敷地内に適切に計画する。 	<p>歩道、車道の区分を明確にし、歩行者の安全を考えた駐車場・駐輪場を設置する。</p>

新庁舎基本計画にかかる論点整理

■ 基本的認識の共有とメインテーマ

- 本計画においては、庁舎に必須となる窓口機能、執務機能、議会機能の他に、付加機能としてどういった機能をどの程度付加するか(全く付加しないことも含めて)が、大きな論点となります。
- 庁舎は町の行政事務を取扱う公共施設であり、庁舎が必ず備えるべき基本的な機能は、町民対応のための「窓口機能」、町職員が行政事務等を行う「執務機能」、議員活動の場となる「議会機能」の3つから構成されます。これらの基本的な機能の他に、町の活性化、町民サービスの向上、環境への配慮等の観点から庁舎が備えるべきその他の追加機能について導入効果の高い機能を計画します。

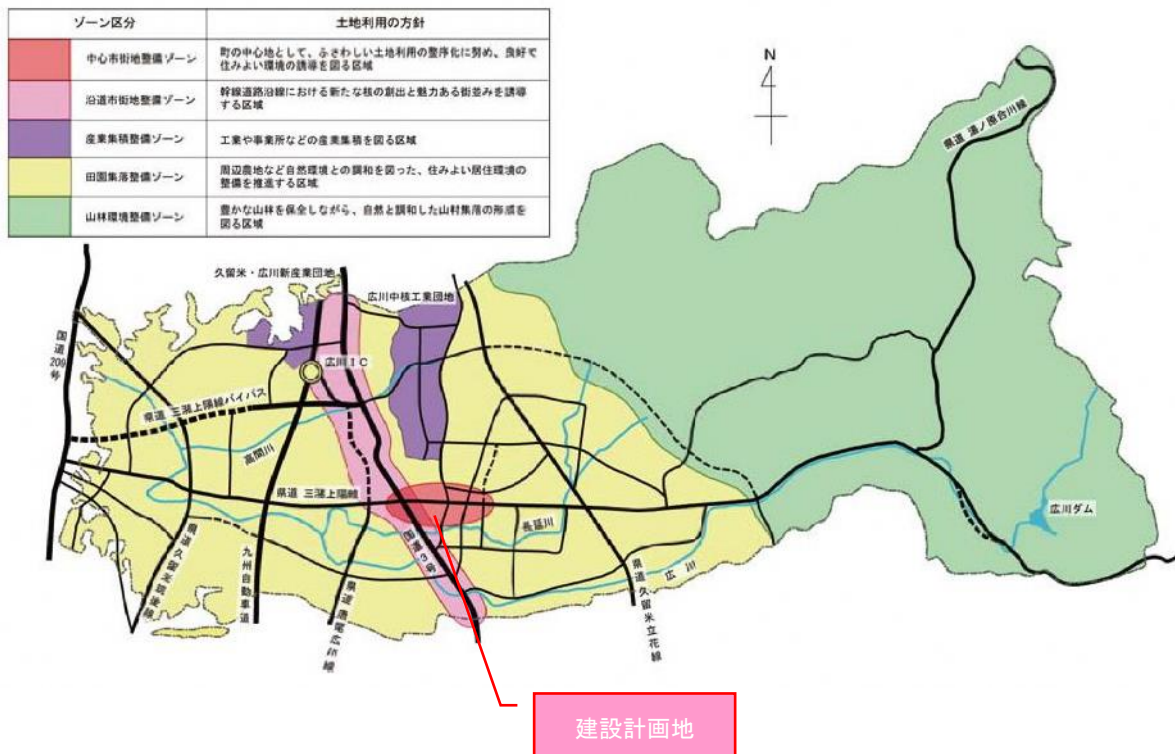
▼ 庁舎に関わる構成要素



論点① 広川町にとって、新庁舎が果たすべき役割とは？（新庁舎に付加機能は必要か）

○現在の庁舎位置

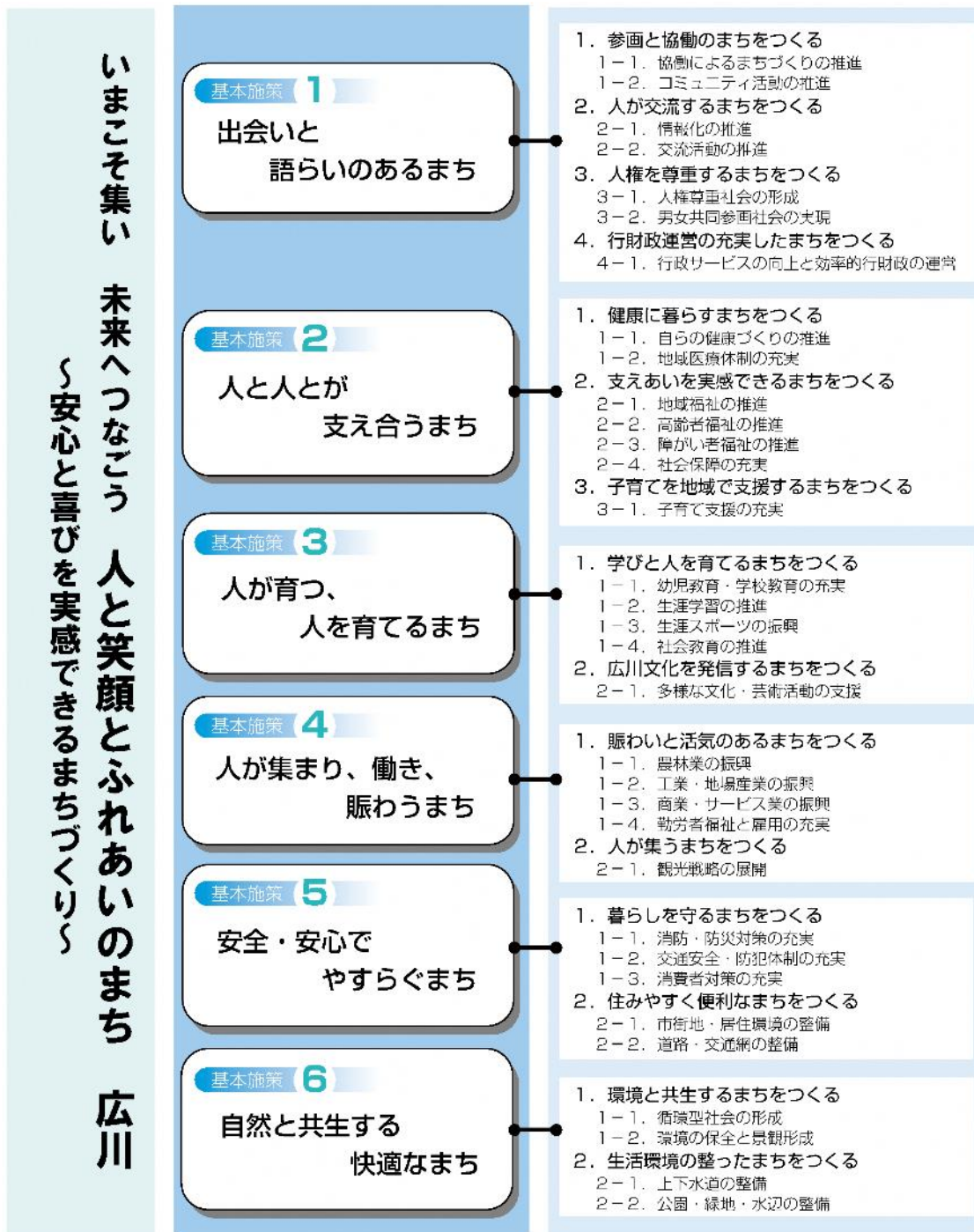
- 現在の庁舎は、中心市街地整備ゾーンに位置し、町の中心拠点の一役を担っています。
- 広域的な道路網は、町の中央部を国道3号が南北に走り、これと並行して東部に県道久留米立花線、西部には国道 209 号が走っています。



○上位計画(都市計画)

・ 第4次総合計画では、以下の5つのテーマを重点的に取り組む計画としています。

- ① 住民力を結集した協働のまちづくり
- ② 町の特性を活かしたまちづくりの推進
- ③ 簡素効率化を目指した行政運営の確立
- ④ まちづくりを担う人材育成と能力開発
- ⑤ 計画推進体制確立のための仕組みづくり



○町長の意向

- 町のシンボルとして高層階にして、屋上を町民の憩いの場とする
 - 出来るだけシンプルにランニングコストがかからないように計画してほしい
- 広川町にとって、新庁舎が果たすべき役割は「町の活性化やまちづくりに寄与する中核施設」
- 町の賑わいづくりに寄与する庁舎以外の機能が必要ではないか？

～議論イメージ～

論点2：広川町にとって、新庁舎が果たすべき役割とは(新庁舎に付加機能は必要か？)

⇒ 広川町にとっての新庁舎の位置づけは？

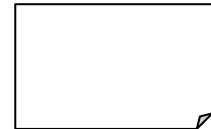
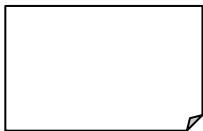
《必要》

《不要》

中心市街地
活性化のため

住民サービス
充実のため

事業費を
縮減するため



論点② どのような広川町新庁舎を目指すのか？(どのような付加機能が考えられるか)

○広川町のまちづくり上の課題

- 少子高齢化の進行、産業を取り巻く環境の急速な変化、安全・安心への意識の高まり、情報化の一層の進展、環境保全意識の高まりなど、本町を取り巻く社会・経済情勢は大きく変化し、本町のあらゆる分野に大きな影響をもたらしています。

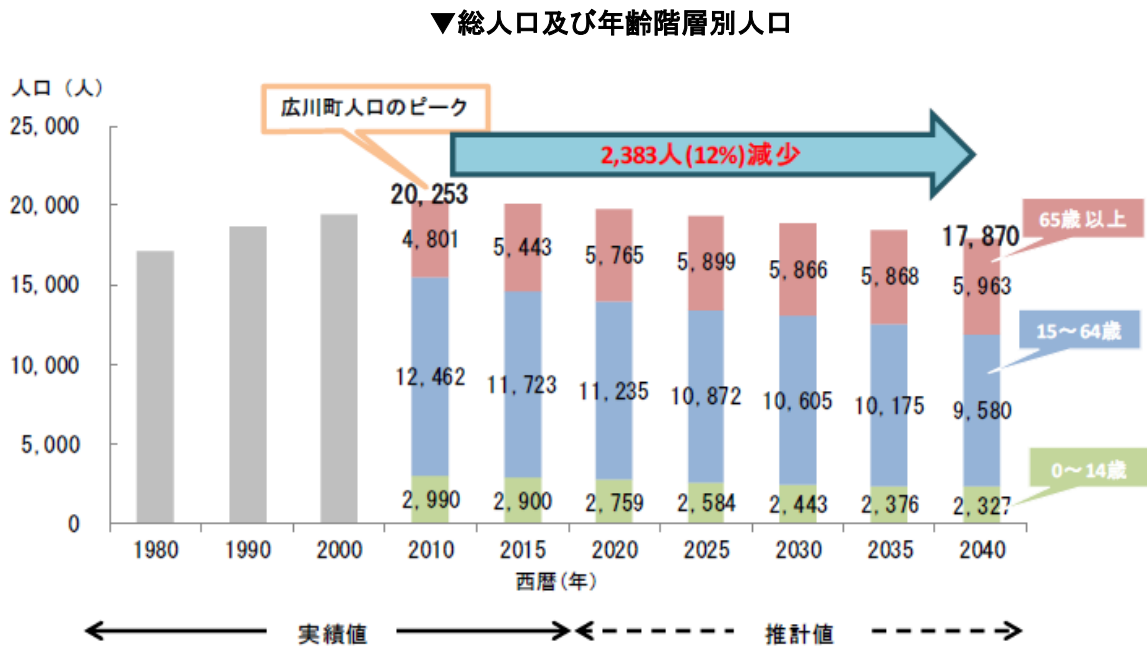


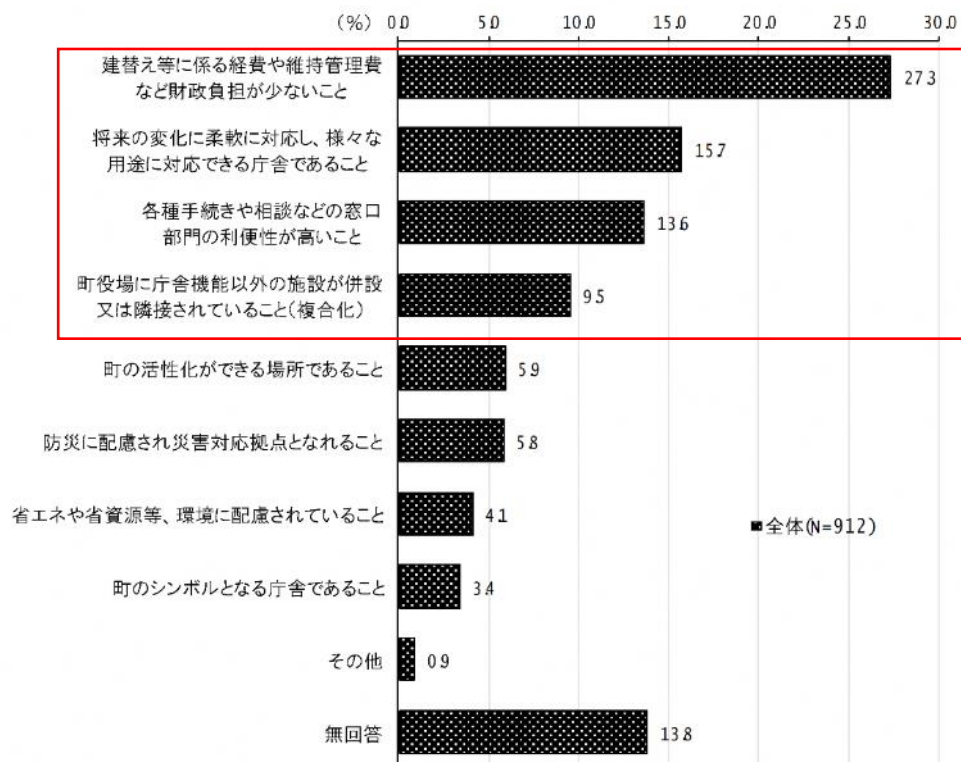
図 人口推移と将来推計

出典) 公共施設等総合管理計画

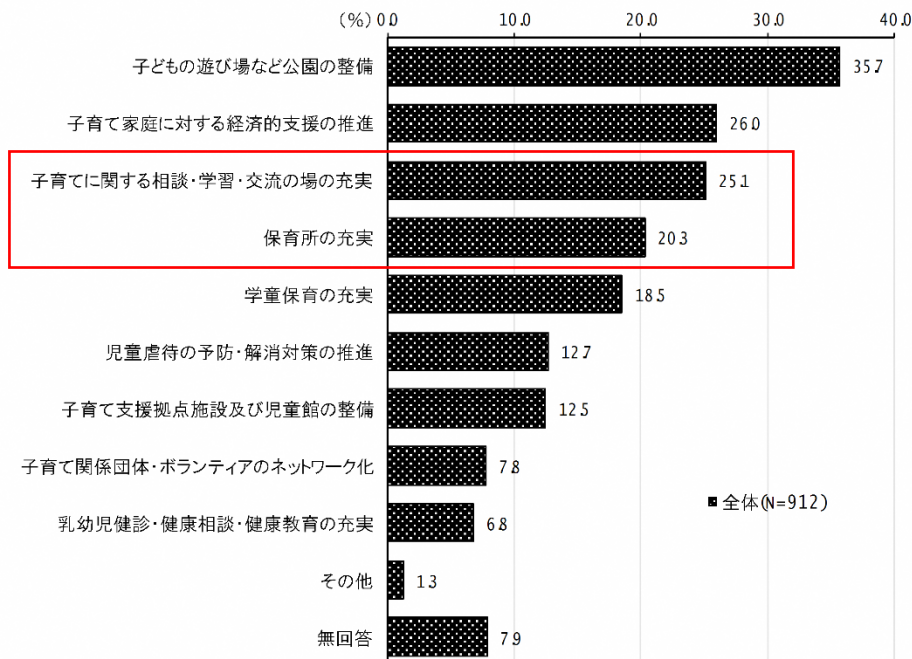
○町民アンケートの結果

- 庁舎を建替える場合に一番重要なことについては、「建替え等に係る経費や維持管理費など財政負担がすくないこと」が 27.3%で最も高く、次いで「将来の変化に柔軟に対応し、様々な用途に対応できる庁舎であること」(15.7%)、「各種手続きや相談などの窓口部門の利便性が高いこと」(13.6%)、「町役場に庁舎機能以外の施設が併設又は隣接されていること(複合化)」(9.5%)の順となっている。
- 子育て環境を充実させるために力を入れるべきことについては、「子どもの遊び場など公園の整備」が 35.7%と最も高く、次いで「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(26.0%)、「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」(25.1%)、「保育所の充実」(20.3%)、「学童保育の充実」(18.5%)の順となっている。
- 行政の窓口サービス向上のために重要なことについては、「職員の接客態度の改善」が 34.5%と最も高く、次いで「1箇所ですべての対応が可能なワンストップ窓口の設置」(31.6%)、「休日開庁の拡充」(30.6%)、「カウンター仕切りの配慮やわかりやすい案内表示」(20.2%)、「待ち時間の短縮」(17.5%)の順となっている。

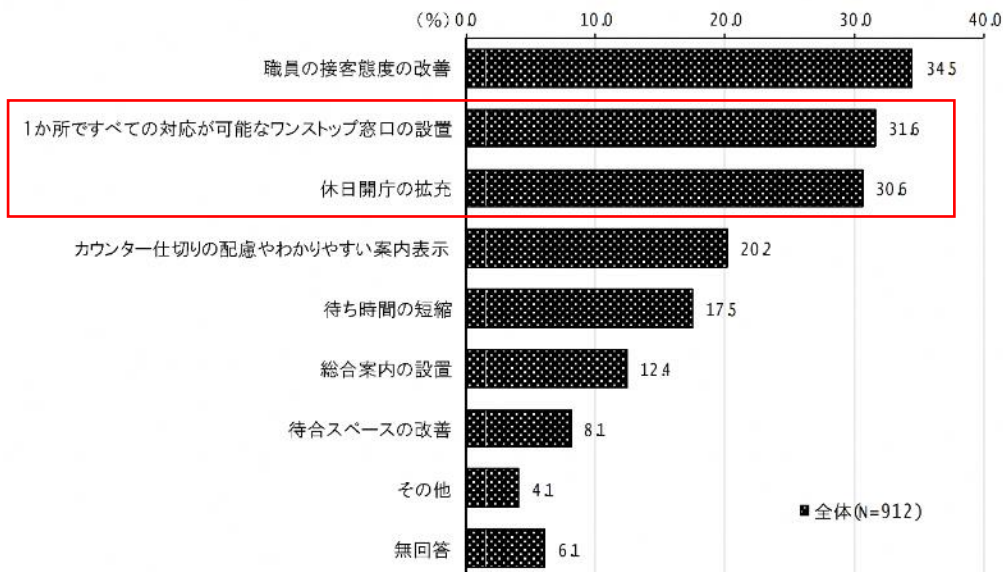
▼庁舎を建替える場合に一番重要なこと



▼子育て環境を充実するために力を入れるべきこと



▼行政の窓口サービス向上のために重要なこと



○町民アンケートの自由意見

- **駐車場が広いこと等、駐車場に関する要望が多数。**
- **防災に対応できる場所。**災害対応拠点で、安全が確保できる場所。
- 今後の町づくりを考えて具体化してほしい。広川町全体で考えてほしい。中央にばかり集めすぎるのではないか。
- インターネットの利用により、庁舎の利用頻度が減るのではないか。

○職員(作業部会)の意見

- 職員作業部会での意見を下記にとりまとめた。執務機能や会議機能等、働く環境に関する要望が多い。

新庁舎の機能分類		回答票数	回答割合	町職員の要望	要望を踏まえた具体的な機能検討案
1) 窓口機能	1-①窓口機能	21	10.8%	窓口機能については、手続き上関係する課同士の連携が取りやすい配置への考慮や窓口の統合化等、町民の移動が最小限となることへの要望や、見てわかりやすい案内の表示などが求められている。	ワンストップサービス 案内サービス(サイン等)
	1-②相談機能	9	4.6%	相談機能については、個人のプライバシーに配慮した小部屋、会議室等が求められている。	相談ブース
	1-③ユニバーサルデザインの導入	32	16.4%	高齢者・障がい者に向けたエレベーターの設置や車椅子の通れる広い通路の整備、フロアのバリアフリー化のほか、来庁者用の多目的トイレの設置や子供用ベッド、おむつ替えスペースなど小さいお子さんを持つ方々への配慮の要望が高い。	エレベーター 多目的トイレ キッズスペース・授乳室等
2) 協働機能	2-①町民協働機能	7	3.6%	1階エントランス付近等に多目的に使えるスペースの設置が求められている。	多目的スペース
	2-②町民交流機能	18	9.2%	イベントや選挙等に使える多目的なスペースや、待ち時間や休憩時間に町民、町職員がくつろぐことが出来るスペースの要望が高い。また、併せて売店や食堂、自販機、ATM等への要望も高い。	休憩談話スペース 飲食施設 利便施設 ATM
	2-③情報提供機能	3	1.5%	ポスターやチラシの掲示、設置が出来るコーナー等が求められている。	情報発信コーナー
3) 執務機能	3-①執務機能	33	16.9%	連携が必要な課同士や議場と議会議務局等、近接が必要な課の配置への考慮への要望が高い。また、書類や機材の保管が必要な課では書庫・倉庫の設置への要望が高い。	執務レイアウト 書庫スペース
	3-②会議機能	24	12.3%	議会時の委員会や期日前投票、イベント準備作業等に対応できる会議室が求められている。また、簡単な打合せを行う打合せスペースへの要望も高い。	打ち合わせスペース
	3-③執務空間のユニバーサルデザイン	3	1.5%	書類や物品の運搬のためにエレベーターの設置が求められている。	エレベーター
	3-④情報機能	14	7.2%	課の移動等に柔軟に対応できる、配線の取り回しが可能な床への要望が高い。また、災害時を見据えた情報管理の対策が求められている。	OAフロア セキュリティ
4) 議会機能	4-①議会機能	10	5.1%	議場と事務局の配置の近接化が求められている。災害時にも対応できるような設備が求められている。	レイアウト 防災設備
5) 防災機能	5-①災害対策本部機能	16	8.2%	災害時に避難スペースとして活用できる休憩スペースや仮眠室、会議室、またシャワー室や備蓄倉庫等の設置への要望が高い。	防災中枢の確保
	5-②耐震性能の確保	2	1.0%	地震に対応した家具の設置が求められている。	家具備品
	5-③防犯機能	5	2.6%	防犯カメラや職員証による入室管理によるセキュリティの向上、また庁舎周辺の外灯の設置等による防犯性の向上が求められている。	セキュリティ
6) その他機能	6-①省資源・省エネルギー機能	8	4.1%	採光や風通しの工夫や、あまり使わない棟はセンサー照明を取り入れる棟によるコスト削減、また太陽光発電の設置が求められている。	自然エネルギー
	6-②町民に親しまれるデザイン	0	0.0%	意見なし	-
	6-③地産地消機能	0	0.0%	意見なし	-
	6-④駐車・駐輪機能	11	5.6%	十分な駐車台数の確保への要望が高い。	駐車場
	6-⑤その他	44	22.6%	喫煙スペースの確保、シャワー室の設置、職員専用の休憩スペースの設置等への要望が高い。	喫煙スペース シャワー室 休憩スペース

～議論イメージ～

論点2:どのような広川町新庁舎を目指すのか(どのような付加機能が考えられるか?)

◆庁舎に必要と考えられる付加機能(例)について

導入する機能(案)		想定される効果
基本機能	窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民窓口の充実(総合案内、町民窓口、待合ロビー、相談室等) ・ ワンストップサービスの提供
	執務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執務スペースの充実(執務室、職員ロッカー等) ・ 必要諸室の整備(書庫、倉庫、情報・セキュリティ基盤、機械室、電気室等) ・ コミュニケーションの促進(会議室、共有スペース等)
	議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円滑な議会運営(議場、議長室、委員会室、議員応接室等)
利用促進機能	物販(コンビニ、産直等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎利用者が見込まれ、利便性向上と施設利用促進に寄与する
	飲食(喫茶、軽食、休憩)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設利用者の休憩スペースや交流スペースとなる
	健康増進(フィットネス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の要望も多いスポーツジムなど、スポーツ振興に寄与する
	図書コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット予約等で図書館の書籍が閲覧できる ・ 喫茶、軽食と併用し庁舎窓口利用以外の町民利用も想定できる
学習機能	教室、貸し会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民や町民が講座の教室として利用できる ・ 地域住民、周辺企業、職員が会議室を利用できる
	託児所機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代が施設を利用しやすくなる ・ 子育て世代の新しいライフスタイルを支援できる
情報発信機能	ギャラリー (展示機能 町民利用、企業利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動発表の場となり、利用者のモチベーション向上や情報発信が可能となる ・ 交流人口に対してPRの場となる
	就業支援機能 (ハローワーク)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだ知識を活かせる就職情報の提供を行うことで、得た知識をすぐに仕事で発揮できるようにサポートする
展開・発展機能	コンベンションホール(催事機能)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な発表の場を提供できる ・ 自治体の連絡会議等の利用
	チャレンジオフィス (コワーキングスペース等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民や大学と連携し、新たな活力創生につながる ・ 町外の起業希望者を呼び込むきっかけとなる
その他	環境機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然エネルギーの活用(自然採光、自然通風、太陽光発電施設等) ・ 緑地帯の整備による憩いの場
	防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害バックアップ施設の導入(自家発電施設、雨水貯留施設等)
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な駐車台数の確保 ・ 電気自動車の急速充電器

